



海外便り

海と都会、その境界で出会うダイナミックな
エネルギー 釜山へようこそ

—釜山編—

「映画の街」、「活気ある水産市場」、「美しいビーチ」、あるいは「日本から一番近い海外」といったイメージを持つ方が多いのではないのでしょうか。

実は釜山は、韓国第2の都市でありながら、首都ソウルとは全く異なる独自の「海洋文化」と「情熱」を持った街です。福岡から高速船で約3時間、飛行機なら成田から約2時間という驚くべき近さにあり、週末を利用して気軽に訪れることができる「最も身近な異国」と言えるでしょう。今回は、私が現地で実際に見て、食べて、感じた釜山の魅力を、5つの象徴的なスポットを中心に詳しくご紹介したいと思います。

●1. 釜山の全景を一望する歴史の光：荒嶺山（ファンリョンサン）烽燧台

釜山という街のダイナミックな構造を一目で理解したいなら、まずは荒嶺山（ファンリョンサン）の頂上に登ることをお勧めします。

ここはかつて、軍事的な通信手段として火を焚いた「烽燧台（ほうすいだい）」が残る歴史的な場所です。現在は、釜山市内を360度パノラマで見渡せる最高の展望スポットとして愛されています。特に、日が沈んでから街に明かりが灯り始める時間帯の美しさは格別です。山々に囲まれた地形の中に、密集する住宅街の光と、近代的な高層ビルの輝き、



●2. 華やかな海岸線と未来都市の調和：海雲台（ヘウンデ）＆ 広安里（クァンアンリ）

そして遠くに見える釜山港の灯りが複雑に絡み合い、まるで宝石箱をひっくり返したような夜景が広がります。

釜山を象徴する二つの海、海雲台（ヘウンデ）と広安里（クァンアンリ）は、それぞれ異なる魅力で訪れる人々を魅了します。



- 海雲台（ヘウンデ）：韓国を代表する高級リゾート地です。100階建てを超える超高層ビル「LCTランドマークタワー」が砂浜のすぐ脇にそびえ立つ光景は、釜山が

持つ圧倒的なエネルギーを象徴しています。洗練された街並みと青い海の間を散策していると、大都市の活気とリゾート地の余裕を同時に感じることができます。



- 広安里（クァンアンリ）：若者の熱気が溢れるスポットで、夜になるとその真価を発揮します。海の上に長く架かる「広安大橋（ダイヤモンドブリッジ）」の華やかなライトアップは、釜山で最も美しい夜景の一つ

に数えられます。最近では、毎週土曜日の夜に大規模なドローンショーが開催されており、最新技術と海の情熱が融合した釜山ならではのエンターテインメントを楽しむことができます。

●3. 釜山の「魂」が息づく活気：南浦洞（ナンポドン）

釜山の人々の力強く、そして温かい生命力を肌で感じたいなら、南浦洞（ナンポドン）の市場へ足を運んでみてください。



- チャガルチ市場：「オイソ（来てください）、ボイソ（見てください）、サイソ（買ってってください）」という勢いのある釜山方言が飛び交う、韓国最大級の水産市場で

す。威勢の良い市場の「アジュンマ（おばさん）」たちの姿と、所狭しと並ぶ新鮮な海産物は、訪れる人々に強烈な印象を与えます。



- カントン市場（富平市場）：迷路のような路地には、美味しい香りが立ち込めています。釜山のソウルフードである「ムルトッ（水餅）」や「釜山おでん」など、ここでしか味わえない屋台グルメが目白押しです。朝

鮮戦争当時の避難民たちが集まって形成されたこの場所には、釜山の歴史と人々のたくましが今も色濃く残っています。

●4. 過去の路地に宿る新しい感性:田浦 (ジョンポ) カフェ通り

伝統的な市場の熱気を感じた後は、釜山の最もモダンな一面に触れてみましょう。それが、近年注目を集めている田浦 (ジョンポ) カフェ通りです。

ここは元々、古い工具店や鉄工所が密集していた無機質な下町でした。しかし、数年前から感性豊かな若手クリエ

イターやバリスタたちが集まり始め、古い建物の骨組みを活かしつつ、モダンなインテリアでリノベーションした個性的なカフェやセレクトショップが次々と誕生しました。古い鉄工所のすぐ隣に洗練されたカフェが並ぶ、その独特な「ニュートロ (Newtro)」の雰囲気は、日本の旅行者の間でも SNS 映えするスポットとして非常に高い人気を誇っています。



●釜山のお天気と「情 (ジョン)」の厚さについて

釜山の気候についてお話しすると、海洋性気候の影響で冬はソウルよりもずっと暖かく、穏やかです。日本の九州地方に近い感覚で過ごせるため、日本人にとっても馴染みやすい気候と言えるでしょう。

しかし、釜山旅行で最も記憶に残るのは、景色よりも「人」かもしれません。釜山の人々は一見すると言葉が強く、無愛想に聞こえることもあります。実は非常に情に厚いことで知られています。道を聞けば、目的地まで直接連れて行ってくれるようなお節介なほどの温かさこそが、釜山を再び訪れたくさせる最大の魅力なのです。

●結びに：心に刻まれる情熱の都市、釜山へ

ソウルが韓国の「頭脳」であるならば、釜山は間違いなく韓国の「心臓」のような都市です。絶えず動き続ける港の活気、眩しい海の美しさ、そして路地裏に隠された素朴な物語が共存しています。

ビジネスでもプライベートでも構いません。日本から最も近いお隣の街、釜山で、皆さまも自分だけの特別な思い出を作ってみてはいかがでしょうか。釜山の青い海と熱い人々が、皆さまを心よりお待ちしております。

(Ebara Precision Machinery Korea INC. ^イ李 ^{スチヨル}承哲)